

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ルート			
○保護者評価実施期間	令和8年2月10日		～	令和8年2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15人	(回答者数)	15人
○従業者評価実施期間	令和8年2月10日		～	令和8年2月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5人	(回答者数)	5人
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月5日			

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	主体的にあそべる様なマンツーマン対応	子どもの興味や感性に合わせた個別支援を行い、安心して活動できるよう寄り添いながら支援しています。子どもが自分で選択し、主体的に遊びや活動に参加できる環境作りを心がけています。	子どもの興味感心を広げられるような活動の幅を増やしていきたい。また職員で支援方法を共有し、よりよい支援に繋げていく。
2	課外活動の充実	季節事の制作や行事、外出活動など、子どもたちが楽しみながら経験を上げられる活動を取り入れています。安全面に配慮しながら、社会経験(お買い物、交通ルール)や地域との関わり(公園活動)が持てるようにしています。	子どもの発達段階に合わせた活動内容を検討していく。地域の資源を活用し、より多くの経験の機会を提供していきたい。
3	(強度行動障害児への)個別支援	強度行動障害実践研修者を多く配置しています。個々の特性や行動の背景を理解し、落ち着いて過ごせる環境作りを行っています。職員間で情報共有を行い、統一した支援を心がけています。	研修等を通して専門的知識を高め、より適切な支援につなげていきたい。また、保護者や関係機関と連携しながら支援方法を検討していきたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者様に対するの伝達が不十分	活動内容や子どもの様子について十分に伝えきれていない場合があります。職員間での情報共有の不足により、伝達内容に差が出る場合があります。	連絡帳(HUG)や送迎時の伝達を活用し、丁寧な情報共有を心がけていきたい。職員間での申し送りを徹底し、共通理解のもとで保護者対応を行っていきたい。
2	災害時の対応	災害時の対応については、事務所内での災害を想定したものを訓練しています。送迎時や課外活動等の訓練は、安全面に配慮してこれから行っていきたいと思っています。	保護者との災害時の対応や要望を確認した上で、災害時の訓練をしていきたい。
3			